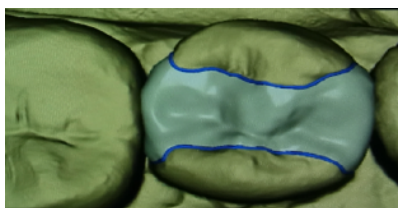


重要

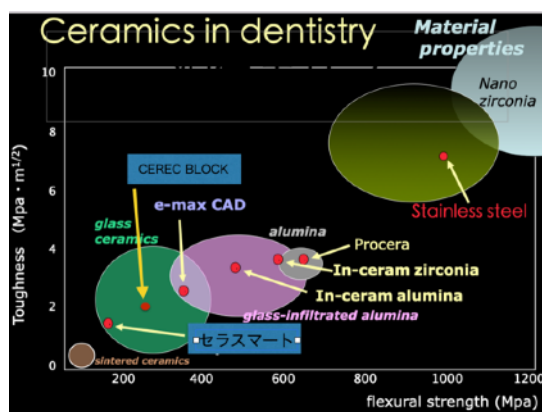
CADCAM製作の補綴物（詰め物）について

現在の国民皆健康保険制度は2年に一度の改正が行われています。その改正によって、窓口で関わる保険点数（診療報酬の変更）の変更や使用できる材料等の変更があります。6年前の保険改正でCADCAM冠が認められるようになり今年度CADCAMで作成されたインレー（部分的な修復）が認められるようになりました。



今一度、使用されている材料についてご確認、ご理解いただいた上での選択をされることを望みます。保険だからいいとは限りません。限りなく長期予後には不向きです。CADCAMとは、設計～技工士、製作～ミリングマシンで行っている補綴物です。使用されている素材は、GC社から出ているセラスマートというレジンブロックです。プラスチックのちょっと硬いものです。

メリットは白いだけです。セラミックスではありません。噛む強さに長期耐えられるかは、不明です。プラスチックであるため、汚れは染み込み滞留します。セラミック同様、厚さを確保するためある程度の切削は避けられません。側面（上記の写真のように）が虫歯で修復するようなケースは、本当に不向きです。



虫歯になるかどうかを左右するには『金属か白い詰め物か』ではありません。適合、強度、お口の環境です。身体に使うものです、適合、強度、予算、長期予後、歯の切削、お口の環境と将来を考えて選択されることを望みます。